

大人のチカラ

32

～子どもたちの未来のために～

メディアとの付き合い方②

「なぜ必要なの」 親の心配を理解させる

インターネットに関わる犯罪から子どもを守るためには、どんな対策をすればいいのでしょうか。ペアレンタルコントロール、つまり「親による子どものインターネット利用の管理」の重要性が叫ばれています。

親が注意し、見守り、 指導する能力を養う

子どもに「ケータイがほしい」と言われたら…。まずは子どもと「今、携帯電話を持つ必要があるのか」「自分専

用の携帯電話がなぜ必要なのか」を十分話し合います。さらに、ネットいじめや詐欺、有害サイト、料金問題など、起こりうるトラブルを話し、親の心配を理解させること。理解できなかつたり、理由を

きちんと説明できなかったら買い与えないことです。

双方が理解し合い、購入することが決まったら、何よりもまず家庭のルール作りを。例えば、きついフィルターをかける、使う時間を限定するなど。

「小中学生のうちには、すぐに携帯電話ではなく居間に置いたパソコンからインターネットを教えるなど、段階的なネット利用が大切」とは、NPO青少年メディア研究協会理事長の下田博次さん。「持たせた後も、正しくペアレンタルコントロールを行うこと。子どもの利用状況を把握し、見守り、指導することです。携帯電話を親子共有にしても、子どもがサイトを通

じて危険人物と会ってしまった例があるなど、安心はできません。メールやサイト閲覧など好き勝手にさせないことが大切です。

県が啓発活動推進 ネット指導員を派遣

「本来、インターネットは夢のあるメディア。正しく用いれば子どもの能力開発なども期待できますが、現状では思わぬ危険人物や情報となつていきます」と下田さん。

このような状況を受け、香川県ではPTAと連携し、地域や保護者の立

場から子どもの携帯電話やインターネットなどの問題を保護者に伝える「さめぎっ子安全安心ネット指導員」を養成し啓発活動を推進しています。各小中学校PTAや子ども会育成会などの学習会への派遣も行っているため、詳しくは県PTA連絡協議会 ☎

087(831)3802 にお問い合わせください。



協力／香川県教育委員会
NPO青少年メディア研究協会理事長・下田博次さん